

謹告

長年、生芸連運営委員として活躍くださった五十幡義信様が、去る12月29日の午後14時57分にご昇天されました。享年76歳でした。

五十幡義信様は、若い頃より東京で広告デザイナーとして活躍され、40代後半からは仕事と並行して現代アートの創作を開始。合板に麻糸を貼ってレリーフ線画を描き、オリジナルの金箔・銀箔を貼り付け、彩色を施す「特殊光彩レリーフ仏画」という独自の技法を編み出し、観世音菩薩や阿弥陀如来などの仏画を描いてきました。明るい色彩に包まれ、力強い存在感を放つ氏の作品は、多くの人に感動を与えるものでした。

生光展では、平成7(1995)年の第17回展で最優秀の「生光展賞」を受賞し、以後、運営委員として大変ご活躍され、特に新しい型に広く生光展への出品を呼びかけてられました。気さくで面倒見が良い人柄に加え、芸術に対する真摯な姿勢は、後進の鏡でありました。

五十幡様の生前のご活躍に心から感謝し、生芸連活動のますますの発展をお誓い申し上げます。

生芸連事務局
小関隆史

合掌

2019年2月13日